

日販連通信

第 55 号
2012 年 8 月 10 日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会
中塚 敏春

住所：〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-5-5
新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp



屋根の構造を見る 太陽光パネル設置調査始まる 茨城県やさと農協で初調査



営農流通センターは設置に最適



送電にはこの電柱の存在が欠かせません



南向きながら日陰が。この部分は設置不可



念のため北向きの屋根も設置可能性を調査

8月8日、茨城県やさと農協で太陽光発電パネルの設置の可能性についての調査を実施しました。二つの直売所、きのこセンター、営農流通センターなどの屋根に施工業者の日本エネルギー建設株式会社の検査社員が登り、屋根の構造、設置可能面積、建物の構造などの調査をしました。

屋根の構造では断熱材がある場合には穴を開けられないために特別に新たな設置方法になります。屋根が日陰になると低い発電になりますので、日陰になる部分を避けての設置になります。きのこセンターではどこまで日陰になるかで設置面積が決まります。北向きの屋根は通常は設置不可です。しかし周辺に居住が無く、反射光での苦情が無いこと、屋根の角度がゆるやかなことから設置の可能性があります。

もうひとつ大切なことは送電のための電柱の存在です。営農流通センターには電柱が林立して全く問題ないとのことです。最終的には電力会社が判断します。今回の調査から営農流通センターには南向きに300枚、北向きに300枚の設置が可能との結果でした。発電量では100kw/hが可能ですが、パネル専門会社の株式会社高島の的場さんは「一法人50kWを超えてのソーラーの場合は高圧トランスや配電盤、その他管理料があり決して効率の良いものではない。営農流通センターへの設置については50kW未満での設置が良いのでは」と提案しました。さらに「今年中での設置であれば設置費用の減税措置で一括償却もあるために来年1月までに設置のスピード感を持つての設置が望ましい」と説明しました。

やさと農協の鈴木部長は「仮に2000万円の設置費用なら生協などの消費者が1000万円の拠出、農協が1000万円の拠出で生産者、消費者の共同の設置というのが望ましい。このくらいの金額ならすぐにも協議して拠出できる。問題は単に農協の儲け事業という図式ではなく、消費者と一緒に作り上げることではないか。消費者による農協へのファンド構想なども興味深い」と語りました。

いわて生協の「かけあしの会」駆け足で！！

宮古復興にご支援ください

「かけあしの会」は被災者に寄り添い「目となり、耳となり、口となる」をモットーに仮設住宅の被災者へ僅かながらも仕事を提供し収入を得られ働く喜び、生きがいへと繋がり希望を抱けるようにと考えている仲間の集まりです。
(復興プロジェクト
かけあしの会代表 菅原剛夫)



「宮古の塩」でミネラル補給
スポーツ中の塩の補給にオススメ

復興プロジェクト
かけあしの会

製造方法
原材料名：海水(化学処理なし)
工程：イオン交換、平造、乾燥、包装

名称：食塩 内容量：3g
原材料名：海水



1個 350円(送料税込) 納品30個以上

宮古の塩ストラップ	注文数	個
-----------	-----	---

依頼主名	
住所	
電話	
お届け先名	
住所	
電話	

(申込先)

日本販売農業協同組合連合会
〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館
電話 03-3375-6399
FaX 03-3375-6637

中村

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp